

令和3年度 事業報告

スポーツを通じた健康の保持増進と魅力ある持続可能な社会の実現に寄与することを目的として、超党派による議員提案により提出された「北海道スポーツ推進条例」が令和4年第1回定例道議会において全会一致で議決され、令和4年3月31日に公布された。

同様の条例は都道府県で19例目となり、障がい者スポーツについては、条例の第10条に「道は、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツに参加することができるよう、その障がいの種類及び程度に応じたスポーツへの参加の機会を提供するとともに、障がい者のスポーツを推進する人材及び団体等の育成を図るために必要な施策を講ずるものとする。」と定めている。

本条例の制定を受け、障がい者スポーツ団体の活動を支援するための道の補助金が新規に当協会の新年度予算に組み込まれた。令和3年度はコロナ禍に明け暮れた一年となったが、今後は中長期的な視点を持って、障がい者スポーツ推進の潮流を当協会の事業成果に結びつけていかなければならない。

I 大会開催等の事業（公益目的事業1）

～障がい者スポーツの競技力向上と振興を図るための大会開催等の事業～

1 大会開催事業

(1) 第59回北海道障がい者スポーツ大会

身体障がい者及び知的障がい者が、スポーツを通じて体力の維持増進を図り、障がい者の自立と社会参加を促進させるとともに、障がいに対する道民の理解を深め、本道における障がい者のスポーツをより発展させることを目的として本大会を計画したが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

本道においては、5月の連休明けから、まん延防止等重点措置（5/9～5/15、6/21～7/11、8/2～8/26）及び緊急事態措置（5/16～6/20、8/27～9/30）が断続的に実施されるなど、道内の感染状況が著しく悪化したため、主催団体で協議した結果、選手及び大会関係者の健康と安全を担保できないと判断し、全競技の開催中止を決定した。

■開催年月日 令和3年7月11日（日）・9月26日（日）・10月17日（日） ※開催中止

■開催市町村 士別市・名寄市・剣淵町・美深町

■参加予定数 選手600人 役員等600人 合計1,200人

実施競技	開催地	競技会場	開催日
陸上競技	士別市	士別市営陸上競技場	9/26
車いすバスケットボール	士別市	士別市朝日農業者トレーニングセンター	10/17
バスケットボール	美深町	美深町民体育館	10/17
サッカー	名寄市	なよろ健康の森	7/11
ソフトボール	剣淵町	剣淵町平波球場	9/26
フットベースボール	士別市	士別市天塩川ソフトボール場	9/26

(2) 第 41 回北海道障がい者冬季スポーツ大会

障がい者が冬季スポーツを通じて、健康な心身の維持増進を図り、希望と勇気を持って社会に参加するとともに、道民の共感を呼び起こさせ、ノーマライゼーションの理念の浸透を促進させることを目的として本大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら開催に向けた諸準備を進めていたが、年明けから加速度的に全国で感染が拡がり、本道においても道内全域を対象とするまん延防止等重点措置（1/27～3/21）が実施されたため、関係団体と協議の上、大会を中止するに至った。

■開催年月日 令和4年2月26日（土） ※開催中止

■開催地 枝幸町

■参加予定数 選手100人 役員等200人 合計300人

競技名	ランク・距離	競技会場
大回転競技	A ランク 600m B ランク 400m C ランク 300m	枝幸町三笠山スキー場
距離競技	A ランク 3000m B ランク 1000m C ランク 500m D ランク 150m	枝幸町三笠山スキー場麓 特設会場

(3) はまなす車いすマラソン 2021

障がい者が車いすマラソンを通じて、お互いの理解と親睦を深めるとともに、希望と勇気を持って社会に参加する意欲を喚起させ、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者スポーツの振興及びノーマライゼーションの理念の浸透を図ることを目的として本大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

東京五輪のマラソンが札幌開催となった影響により、北海道マラソンが休止になったことから、オープン競技であるショートレースを真駒内公園内の園路コースで開催する計画であったが、本道においても夏に感染が再拡大し、まん延防止等重点措置（8/2～8/26）に続いて、緊急事態措置（8/27～9/30）が実施された状況を鑑み、関係機関と協議の上、開催の中止を決定した。

■開催年月日 令和3年8月29日（日） ※開催中止

■開催地 札幌市

■参加予定数 選手100人 役員等400人 合計500人

実施競技	競技コース
ショートレース（オープン競技） 1 km・3 km・5 km コース	真駒内公園内コース（真駒内公園屋外競技場発着）

(4) 競技別スポーツ大会（主催・共催）

障がい者が競技等を通じて、スポーツの楽しさを体験するとともに、健康の維持増進、機能回復を図り、参加者との交流を深めることにより、障がいに対する道民の理解を深め、社会参加の意欲の向上を図ることを目的として8大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、全ての大会開催を中止した。

5月中旬から秋にかけて、緊急事態措置及びまん延防止等重点措置が断続的に実施された状況を踏まえ、基礎疾患のある選手や高齢の選手も少なくないことから、参加選手及び大会関係者の安全を確保することが極めて困難であると判断し、全ての大会の開催中止を決定した。

大会名	開催日
	会場名
第36回北海道身体障がい者アーチェリー競技大会	令和3年8月1日(日) ※開催中止
	月寒アーチェリー場(札幌市)
第22回北海道ボッチャ選手権大会(共催)	令和3年8月15日(日) ※開催中止
	道立野幌総合運動公園(江別市)
タンDEMサイクリング大会	令和3年8月29日(日) ※開催中止
	道立野幌総合運動公園(江別市)
第32回北海道障がい者水泳大会	令和3年9月12日(日) ※開催中止
	平岸プール(札幌市)
第33回北海道障がい者卓球競技大会	令和3年9月23日(木・祝) ※開催中止
	札幌市身体障害者福祉センター
第27回北海道障害者フライングディスク大会(共催)	令和3年9月26日(日) ※開催中止
	つどーむ(札幌市)
第35回北海道身体障がい者ゲートボール大会	令和3年10月9日(土) ※開催中止
	宮の沢屋内競技場(札幌市)
第33回北海道障がい者ボウリング大会	令和3年10月31日(日) ※開催中止
	ディノスボウル札幌白石(札幌市)

2 大会派遣事業

(1) 第21回全国障害者スポーツ大会北海道選手団派遣

障がいのある選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として大会派遣を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、大会開催が中止になったことから、北海道選手団の派遣を取り止めた。

道内の感染状況の推移を見極め、5月の強化合宿を中止した上で、10月の本大会に向けて、6月末には北海道選手団の大会参加申込の手続きも終わっていたが、全国レベルの感染の拡がりの中、8月25日に開催地の三重県を含む主催4団体連名による大会開催中止の発表があり、翌26日には、当協会から選手団の選手・スタッフに対し、派遣の中止を書面で通知した。

なお、令和4年10月に栃木県で開催される次期大会に派遣する選手を選考する委員会を令和4年2月に書面開催し、個人競技に出場する70名の代表選手を選定した。

■強化合宿 ※中止

- 第1班 令和3年5月10日(月)～12日(水) 道立野幌総合運動公園(江別市)
- 第2班 令和3年5月12日(水)～14日(金) 道立野幌総合運動公園(江別市)
- 第3班 令和3年5月14日(金)～16日(日) 道立野幌総合運動公園(江別市)

■北海道・東北ブロック予選会 ※中止

令和3年6月(団体競技)

■選手団派遣 ※中止

令和3年10月21日(木)～26日(火) 三重県 選手77人・スタッフ45人

■大会開催 ※開催中止

令和3年10月23日(土)～25日(月)

■競技会場

式典/競技名	式典/競技会場	派遣選手数
開・閉会式	三重県総合文化センター（津市）	—
陸上競技	三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場（伊勢市）	29人
水泳	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場（鈴鹿市）	10人
アーチェリー	松阪市総合運動公園芝生広場（松阪市）	1人
卓球	三重県営サンアリーナ（伊勢市）	12人
フライングディスク	朝日ガスエナジー東員スタジアム（東員町）	9人
ボウリング	津グラウンドボウル（津市）	6人
ポッチャ	三重県営サンアリーナ（伊勢市）	2人
バスケットボール	津市産業・スポーツセンター（津市）	8人
	計	77人

■派遣選手選考委員会（第22回全国障害者スポーツ大会「栃木県：R4.10.29～31」）

書面開催（令和4年2月9日決議） 選考委員12名

II 指導者育成等の事業（公益目的事業2）

～障がい者スポーツを普及啓発するための指導者育成等の事業～

1 指導者育成事業

(1) 障がい者スポーツ競技指導者研修会

障がい者スポーツの振興と競技力向上にあたる指導者の資質と指導力の向上を図るため、障がい者スポーツ指導者を養成することにより、障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、障がい者スポーツ環境の一層の充実を図ることを目的として本研修会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

第59回北海道障がい者スポーツ大会の競技運営を担う審判員を主な対象とした研修会であることから、本大会の中止に伴い、研修会も全て中止となった。

■競技指導者研修会 ※開催中止

研修会名	実施予定	研修対象団体
陸上競技審判研修会	令和3年8月	士別市陸上競技協会
車いすバスケットボール競技審判研修会	令和3年9月	士別地区バスケットボール協会
フットベースボール競技審判研修会	令和3年8月	士別軟式野球連盟

(2) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

障がい者の適性に応じたスポーツやレクリエーションの実施方法及びリハビリテーションとの関連性等について講習を行い、主として身近な障がい者に対してスポーツの喜びや楽しさを理解させるための指導者を育成することを目的として本講習会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

感染状況に留意しながら講習会の開催の準備を進めていたが、道の警戒ステージが依然として高いレベルにあったことを踏まえ、本講習会の中止を決定した。

- 開催年月日 令和3年11月6日(土)～8日(月) **※開催中止**
- 開催地 札幌市(北海道青少年会館コンパス)
- 受講定員 20名
- 講習内容 全21時間(講義・実技)

2 普及啓発事業

(1) 障がい者スポーツ教室

スポーツに親しむ機会の少ない障がい者が、障がいの特性に応じたスポーツを生活の中に取り入れるための契機となるよう、各種スポーツのルールや基本的な技術を修得するとともに、スポーツに親しみ、多くの仲間と交流しながら、社会参加意欲の向上を図ることを目的として実施した。

前年度もコロナ禍のため低調な開催状況であったが、本年度も例年のような実施回数には遠く及ばず、感染予防対策を徹底した上で、5回の教室に延べ84名が参加した。年明けの2月に千歳で計画していたボウリング教室は、全道規模の感染の拡大を受け、中止となった。

地域限定の小規模な事業である本教室は、感染リスクが比較的低いことから、網走市の水泳教室と千歳市のサウンドテーブルテニス教室は、コロナ禍においても前年度に引き続き継続開催されており、参加者のモチベーションも高く好評であった。

本年度も新型コロナウイルスの感染拡大予防対策として、本教室を安全に運営し、参加者及び関係者が安心して参加できるよう、感染予防ガイドラインを予め定めて実施した。参加者全員に体調チェックシートの提出を求め、スポーツをする時以外のマスクの着用を義務付けた。

■スポーツ教室開催状況

対象競技	教室実施日	教室会場	参加者数
水泳(2回)	令和3年8月12日	網走市民健康プール	7名
	令和3年8月15日		7名
サウンドテーブルテニス	令和3年10月17日	千歳市総合福祉センター	8名
卓球	令和3年10月23日	名寄スポーツセンター	49名
ボウリング	令和3年11月28日	ディノスボウル帯広	13名
ボウリング	令和4年2月6日	千歳フジボウル (新型コロナウイルスの影響により中止)	-
合計			84名

(2) 全道巡回障がい児者スポーツ教室

本道の障がい児者が、身近な地域において自主的、積極的、継続的にスポーツに参加できる環境づくりを目指し、道内の総合型地域スポーツクラブと連携・協働し、地域の障がい者スポーツの振興体制を整備することを目的として実施した。

日本パラスポーツ協会の地域振興事業の一環であり、年度前3月の委託先団体募集に応募し、審査を経て、本年度も事業受託することとなり、道内の5クラブにおいて教室事業を実施した。同協会公認の上級障がい者スポーツ指導員を専任コーディネーターとして各クラブに3回派遣した。

標津町では誰もが楽しめるポッチャサークル結成の機運が高まり、北広島市では今回体験したミニバレーが通所施設の利用者サークル活動として始動しており、登別市では既存事業に編入の上、本事業終了後も活動を継続するなど、各地域で具体的な事業成果が得られた。

令和元年度から総合型地域スポーツクラブを対象とした本事業に取り組んでおり、本年度までの3年間で合計15か所の地域で事業を実施したが、他県に類を見ない広域な本道においては、今後も活動拠点を増やしていく必要があり、次年度も本事業の委託先募集に応じる予定である。

■全道巡回教室開催状況（協力：道内5ヶ所の総合型地域スポーツクラブ）

クラブ名	開催日(曜日)	会場	内容	参加者数
わくわくピース (北広島市)	R3. 7. 18(日)	北広島市立大曲小学校	フライングディスク・シッティングバレー	16名
	R3. 10. 3(日)	北広島市立大曲小学校	ミニバレー・ポッチャ等	20名
	R3. 11. 21(日)	北広島市立大曲小学校	ミニバレー・フライングディスク	15名
潮SC (函館市)	R3. 7. 11(日)	函館市立中部小学校	車いす試乗・フライングディスク	40名
	R3. 9. 21(火)	函館高等支援学校	ディスク外・車いすストリートバドミントン	30名
	R3. 12. 16(木)	函館高等支援学校	ディスク外・車いすストリートバドミントン	29名
なかがわSC (中川町)	R3. 7. 14(水)	中川町生涯学習センター	車いす試乗・シッティングバレー・ポッチャ	20名
	R3. 11. 29(月)	中川町生涯学習センター	ポッチャ大会	35名
	R3. 11. 30(火)	中川町生涯学習センター	ポッチャ体験交流会	26名
おにスポ (登別市)	R3. 8. 25(水)	登別市立登別中学校	パラスポーツ体験	33名
	R3. 11. 17(水)	登別市立登別小学校	ポッチャ・ディスクゴルフ	12名
	R3. 12. 17(金)	登別市立登別小学校	ポッチャ・ディスクゴルフ・車いすバスケット	12名
SCすぽっと (標津町)	R3. 7. 19(月)	標津町総合体育館	シッティングバレー・ポッチャ	53名
	R3. 11. 20(土)	標津町川北体育館	ポッチャ・ディスクゴルフ	21名
	R3. 12. 18(土)	標津町総合体育館	ポッチャ・ディスクゴルフ	48名
合計				410名

(3) 会報紙の発行

当協会の事業内容や活動状況などの情報発信を行うことを目的として、会報紙「飛躍」を隔月で年6回発行した。発行部数は500部で、購読者は賛助会員をはじめ当協会の事業の協力団体であり、スポーツ大会の情報をメインに、タイムリーな記事を定期的に提供した。

当協会の主催事業に限らず、ゴールボール日本代表の愛称募集(10月号)、J-STARプロジェクト北海道ブロック測定会(12月号)、北京パラリンピック競技ガイド(2月号)なども記事として

取り上げ、話題性の高い情報を購読者に届けた。

(4) ホームページの運用

当協会の活動内容や最新の障がい者スポーツ情報をリアルタイムで発信することを目的として、ホームページを運用した。スポーツ事業情報や財務諸表などの情報公開サイトは継続的なデータ更新に努め、ユーザーに対するサービスの向上を図った。

今年度はコロナ禍の影響による事業中止のお知らせ情報が多くを占めたが、道内で活動する車いすの少年達の成長を描いたドキュメンタリー動画をトピックスとしてアップするなど、他のメディアとも連携し、ユーザーに有益な情報を提供した。

3 団体助成事業

(1) 障がい児者スポーツ団体助成

道内を活動拠点とする「障がい児者スポーツの振興事業を行う団体・グループ」への支援を通して、本道における障がい児者のスポーツの裾野の拡大を図るとともに、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者の社会参加の促進に寄与することを目的として実施した。

北海道と北洋銀行が平成27年1月に締結した「スポーツ振興における連携及び協力に関する覚書」に基づく事業で、当協会が事業実施主体となり、北洋銀行が提供する資金により、道内の障がい児者スポーツ団体に活動費の支援を行うもので、本年度は9団体に各10万円を助成した。

障がい児者スポーツの推進には、活動の母体である団体の活性化が何よりも重要であるが、多くの団体の財政的基盤は必ずしも盤石とは言えず、安定的な活動資金を確保することが困難な状況にあり、今年度も道内の各地域で様々なスポーツジャンルの活動を展開している団体が選定された。

5月に審査会を開催し、理事会に答申したが、助成決定通知書の授与式は実施を見送った。助成による実施期間は当該年度の1年間であり、助成の対象となった活動の完了後は、所定の報告書や必要書類の提出を各団体に求め、事務局において活動内容の精査を行っている。

■助成先団体及び助成額

No.	団体名（所在地）	助成額
1	一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ指導者協議会（札幌市）	10万円
2	あいべつ校 OBチーム（東川町）	10万円
3	パラレルクラブ（旭川市）	10万円
4	北海道ボッチャ協会（岩見沢市）	10万円
5	北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ（札幌市）	10万円
6	T・H・O・Cクラブ（北広島市）	10万円
7	函館ボッチャ協会（函館市）	10万円
8	リ・クリエイト桑園（札幌市）	10万円
9	オリンピックデーラン士別大会実行委員会（士別市）	10万円
	合計	90万円

Ⅲ 管理部門

1 会務状況

(1) 監事監査

実施日	実施場所	監査内容
令和 3 年 4 月 27 日	かでの 2・7 事務所	・ 令和 2 年度事業報告及び決算 ・ 理事の職務の執行

(2) 理事会

開催日	開催場所	主な議案
令和 3 年 5 月 26 日 (決議日)	書面開催 ※新型コロナウイルスの影響により、みなし決議	○第 1 回理事会 ・ 令和 2 年度事業報告の件 ・ 令和 2 年度決算書類の件 ・ 団体助成事業に係る助成先団体の選定の件 ・ 令和 3 年度定時評議員会の招集の件
令和 3 年 6 月 16 日 (決議日)	書面開催	○第 2 回理事会 ・ 会長、副会長、常務理事の選定
令和 4 年 3 月 14 日 (決議日)	書面開催 ※新型コロナウイルスの影響により、みなし決議	○第 3 回理事会 ・ 令和 3 年度収支補正予算書の件 ・ 令和 4 年度事業計画書及び収支予算書等の件

(3) 評議員会

開催日	開催場所	主な議案
令和 3 年 6 月 15 日 (決議日)	書面開催 ※新型コロナウイルスの影響により、みなし決議	○定時評議員会 ・ 令和 2 年度決算書類の件 ・ 評議員 10 名選任の件 ・ 理事 10 名選任の件